

専門職業教育と個人特性 —学部選択・キャリア意識に注目した検討 (1)—

○吉田佐治子 (摂南大学)
栢木紀哉 # (摂南大学)
野々村元希 # (同志社大学)

山本圭三 # (摂南大学)
西岡暁廣 # (同志社大学)

キーワード：専門職業教育、人的特性アセスメント、学部選択

問題と目的

本報告は、専門職業教育を受けた学生たちの個人特性と卒業後の職業定着の関係を把握する一連の研究の一環である。本報告は、特に看護職に焦点を当て、看護学部学生の学部選択理由と個人特性との関連を検討し、西岡他 (2019) で示された現職看護師の離職意向に影響する個人特性と比較することを目的とする。

方 法

調査対象者

私立総合大学看護学部在籍する 1 年次生 72 名 (男性 9 名、女性 63 名)

調査時期

2019 年 7 月

調査項目

「人的特性アセスメント」(吉田他, 2019) を用いた。また、学部選択理由 (複数回答可) と卒業後の看護師としての就労意向 (4 件法) についての質問も設けた。学部選択理由の選択肢を Table 1 に示す。

手続き

調査は一斉に行われた。所要時間は約 20 分であった。また、調査に先立ち、回答は任意であること、個人情報適切に扱われることを説明し、同意書の提出を求めた (承認番号 2014-056, 2018-027)。

結果と考察

学部選択理由の項目とその選択率を Table 1 に示す。選択率が 10% 未満であった「元医学部」を除いた 7 項目についてクラスター分析を行ったところ、4 つのクラスターが得られた。それぞれ、〈職業理解〉(「女性」「家族」「転職」)、〈経済的条件〉(「収入」「資格」)、〈仕事内容〉(「憧れ」)、〈人からの勧め〉(「勧め」) とし、分析にはこれを用いた。

ある学部選択理由を選択した者と選択しなかった者との間で、個人特性に差があるか t 検定を行ったところ、看護職を目指し入学したばかりの学生のなかでも、その志望理由によって個人特性に特徴的な差のあることが示された (Table 2)。

西岡他 (2019) では、現職看護師の離職意向に影響するのは、個人特性のうち「自己効力」のみ

であったが、看護学部学生においては、学部選択理由が何であれ「自己効力」に差はみられなかった。このことから、現職看護師の離職意向と看護職志望時の志望理由とは、個人特性という点では関係がないといえる。職業定着という面からみれば、4 年間の学部での教育・経験、就労してから経験等を通して、「自己効力」をどのように育んでいくかが問題であることが示唆されよう。

Table 1 学部選択理由と選択率

	非選択	選択	合計 (%)
看護師という仕事への憧れ (憧れ)	30.6	69.4	100.0
収入の安定性・高さ (収入)	25.0	75.0	100.0
女性が働きやすい職場であること (女性)	79.2	20.8	100.0
家族が医療関係者 (家族)	79.2	20.8	100.0
人からの勧め (勧め)	62.5	37.5	100.0
元は医学部を志望していた (元医学部)	91.7	8.3	100.0
資格が得られること (資格)	40.3	59.7	100.0
転職の容易さ (転職)	86.1	13.9	100.0

Table 2 学部選択理由と個人特性

	職業理解	経済的条件	仕事内容	人からの勧め
基本的性向				
根気	0.012	0.292	0.154	0.070
正直さ	0.032	-0.683 +	0.020	-0.022
楽観性	0.294	0.017	0.155	-0.256
好奇心	0.437 +	-0.208	0.383	-0.433 +
感情資源				
内省性	0.109	0.150	0.055	-0.074
自己効力	0.176	0.263	0.056	-0.213
自尊感情	0.127	0.050	0.064	-0.299
自己覚知	0.182	-0.028	-0.099	-0.032
自己決定	-0.108	-0.058	0.006	-0.382 *
自制	-0.134	0.083	-0.206	0.267
目標追求	0.156	0.361	0.051	0.136
共感性	0.043	-0.306	0.095	-0.062
愛他心	0.077	-0.109	0.191	-0.278 +
他者への関心	0.339	0.022	0.558 *	-0.326
協力	-0.089	-0.158	0.246	-0.056
自発的援助	0.307 +	0.171	0.265	-0.198
人付き合い	0.308	0.008	0.340 +	-0.304
知性				
寛容性	0.030	0.289	-0.024	-0.030
批判的精神	0.199	-0.054	0.047	0.054
適応力	0.200	-0.094	0.334 +	0.012
発想力	0.042	0.163	-0.173	-0.161
思考力	-0.042	0.150	0.045	-0.264

** p<0.01 * p<0.05 + p<0.10
(表中の数字は、その理由を選択した者の平均-選択しなかった者の平均)

引用文献

- 西岡・山本・吉田・栢木・野々村 (2019). 人的特性アセスメントの作成と離職問題への応用 経済社会学会
吉田・山本・栢木・富岡・西岡 (2019). 知的専門職業人アセスメントの作成 摂南大学教育学研究